

2020年3月31日

株式会社カスミ

放射性物質の自主検査体制の強化と検査結果の公開について

当社は、東日本大震災以降、放射性物質への対応におきましては国の判断・指示に基づき適切に対応してまいりました。国や各自治体によるモニタリング検査の結果を確認し、出荷制限の対象となった商品が店頭に並ばないように、取引先とも連携し仕入管理を強化するとともに、一部の商品につきましては自主検査を実施してまいりました。

このたび、お客様に安心して食品をお買い求めいただくため、生鮮食品の自主検査体制を強化し、その結果を公開することといたしました。

自主検査の概要は以下の通りです。

1. 検査対象商品

①青果物

当社が直接仕入をしている契約産地を対象に、毎月1回サンプル検査を実施します。

②鮮魚

東日本太平洋における回遊性魚種及び沿岸性魚種を対象に、毎週1回サンプル検査を実施します。

③精肉

国産牛肉につきましては毎週1回、東北エリアの国産豚肉・国産鶏肉につきましては毎月1回仕入前のサンプリング検査（自主検査または取引先での検査）を実施してまいります。

2. 検査方法

当社グループ保有のシンチレーションスペクトロメータによる検査

3. 検査結果をふまえた対応について

検査の結果、放射性物質が1kg当たり50ベクレルを超えて検出された場合は、50ベクレルを下回ることが確認されるまで当該産地・漁場の商品の販売を見合わせます。

国が4月からの施行を検討している、食品中に含まれる放射性セシウムに対する新たな規制値において一般食品は100ベクレル、乳児用食品は50ベクレルの予定です。お客様により安心していただけるように、またイオン株式会社における対応もふまえ、50ベクレルを指標といたしました。

4. 検査結果の公開について

自主検査の結果につきましては順次、当社ホームページにて公開いたします。

当社は、お客様によりご安心していただける商品を提供できるよう、品質管理のさらなる強化と適切な情報開示に努めてまいります。

《当資料に関するお問い合わせ先》

○お客様窓口：お客様相談(フリーダイヤル)

TEL. 0120-371315(通話料無料 9:00~18:00)